

# 豚ふん堆肥を原料に用いた肥料を開発しました

平成20年の肥料高騰以来、施肥コストの低減や地域の肥料資源の活用が重要となっています。家畜ふん堆肥に含まれる肥料成分にも注目が高まっていますが、ハンドリング等の面から肥料として活用されにくいことが課題でした。

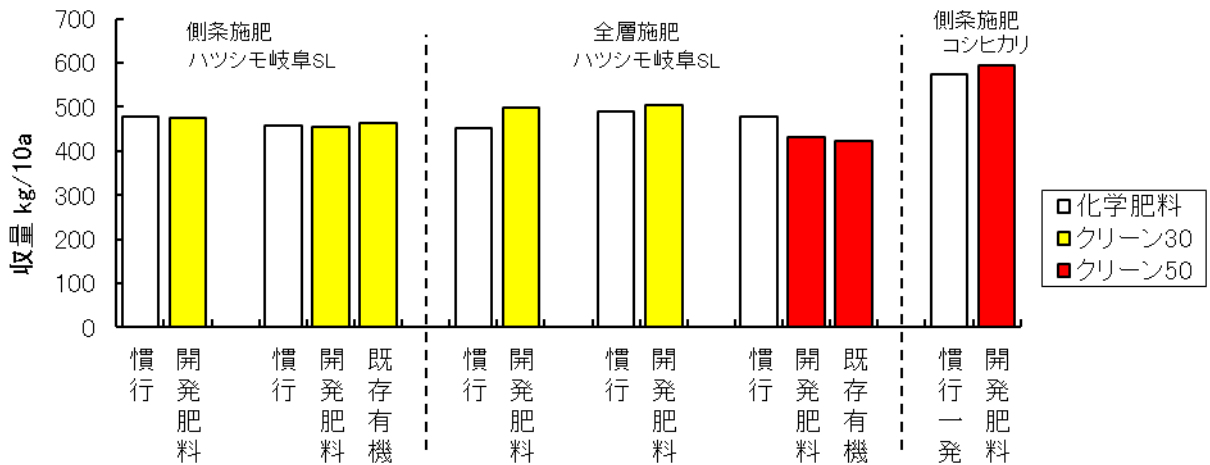
一方、これまで肥料取締法により普通肥料と家畜ふん堆肥は混合できませんでしたが、混合造粒することを認める規格が設定されました。これを契機に県内産のリン酸を多く含む豚ふん堆肥を原料に使用したりサイクル肥料をメーカーとともに開発しました。



製品化した肥料

## 製品の特長

- ・商品名「エコレット048」
- ・豚ふん堆肥を約40%使用(原料混合時)
- ・成分 10-4-8
- ・窒素の50%は有機質由来
- ・主に水稻での利用を想定
- ・粒状のため側条施肥田植機に対応する



## 開発肥料を用いた栽培での収量

クリーン30:ぎふクリーン農業30%減区分に適合、基肥に開発肥料を施用

クリーン50:ぎふクリーン農業50%減区分、特別栽培農産物に適合、基肥と穂肥に開発肥料を施用

既存有機は有機由来窒素割合50%の既存肥料を開発肥料と同様に使用

## (研究成果)

- ・有機質由来窒素を50%含むので「ぎふクリーン農業」や「特別栽培農産物」で活用しやすい肥料となっています。
- ・水稻での利用は、既存の有機態窒素50%の肥料と同等の生育や収量となります。
- ・側条施肥田植機に適応しており、機械施肥が可能です。
- ・化学肥料由来窒素を50%含むため、有機質肥料に比べ窒素肥効が素早い特徴があります。